

News Release

2026年4月21日

この資料は BASF が 2026 年 4 月 21 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF、HALS および NOR[®] HALS の生産能力を拡大し、世界的なメガトレンドに対応

- 標準的な HALS および NOR[®] HALS の生産能力への大幅な投資
- 中国の施設園芸の成長を牽引する高度な NOR[®]テクノロジー
- より安全な取り扱いを実現する、新しい耐摩耗性 (AR) の製品形態

ルートヴィヒスハーフェン、2026年4月21日 – BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は、標準的な HALS 製品と NOR[®] HALS 製品の両方の生産能力を拡大することで、プラスチック添加剤ソリューション分野におけるリーダーシップの地位を強化します。今回の投資は、高性能プラスチックに対する世界的な需要の高まりを支えつつ、実績があり、将来に対応できるテクノロジーの確実な供給を確保するものです。BASF は、高度な NOR[®] HALS プラットフォームを通じて、紫外線量の増加、ますます予測困難になる気象条件、そして厳格化する環境規制といった、プラスチック利用における主要なメガトレンドに対応します。こうした傾向により、長寿命化、耐久性向上、そしてサステナビリティのさらなる推進を実現する材料への需要が高まっています。BASF のプラスチック添加剤事業グローバル製品管理責任者であるヨルグ・ベントラーゲは、次のように述べています。「私たちは HALS および NOR[®] HALS の生産能力を拡大することで、供給の安定性を高め、市場の継続的な成長に備えています。当社のテクノロジーは、お客様のサステナビリティ目標を支援しつつ、製品性能の向上に貢献します。」

成長を続ける中国の施設園芸分野を支援

気候条件がますます厳しくなり、サステナビリティへの期待が高まるなか、生産者、とりわけ世界最大の施設園芸市場*である中国の生産者は、耐久性、効率、そして環境への配慮を兼ね備えたフィルム材料を求めています。現代の農業用フィルムは、強い日差しや熱に耐えるだけでなく、強力な農薬や、薄型化に伴う機械的ストレスにも耐える必要があります。BASF の NOR® HALS テクノロジーは、強い紫外線への曝露、高温、酸性の微気候を生み出す硫黄系製品、そしてますます強化化する農薬に対して、業界トップクラスの耐性を発揮します。この堅牢な安定性により、構造的および光学的な完全性が向上し、複数シーズンにわたって信頼性の高い性能を実現することで、交換頻度、作業負担、および廃棄物を削減します。

これらのメリットは、多様な気候帯にまたがる食料生産を維持するために、グリーンハウス用フィルム、マルチフィルム、トンネル用フィルム、サイレージ用フィルム、およびベールラップフィルムが不可欠である中国において、とりわけ重要となります。BASF の NOR® HALS プラットフォームは、強い日差しのもとや酸性条件下でも長期的な耐久性を発揮し、回収の容易化やフィルムの破損減少を通じて土壌へのプラスチック蓄積を低減するとともに、頻繁なフィルム交換の必要性を最小限に抑えることで生産者の生産性を向上させます。このテクノロジーは、光学的透明度と構造的完全性を維持することで、一貫した光透過率を確保します。これは、中国のグリーンハウス栽培における収量を最大化するための重要な要素です。同時に、耐久性の向上と材料使用量の削減により、中国のサステナビリティへの意欲的な方針と、施設園芸分野における継続的なリーダーシップをサポートします。

耐摩耗性(AR)の製品形態で、より安全な取り扱いを実現

メーカーは、強度や耐久性を損なうことなく、より薄いフィルムを製造できるというメリットを享受できます。これにより、材料の使用量と環境への影響を低減しつつ、複数シーズンにわたって安定した性能を確保することが可能です。安全性と生産効率をさらに高めるため、BASF は NOR®ソリューションを AR(耐摩耗性)形態で提供しており、これにより取り扱い時や加工時の粉塵の発生を大幅に低減します。こうしたアプローチにより、より清潔な作業環境が実現し、添加作業やマスターバッチの製造が簡素化されます。

4月21日から24日まで開催される Chinaplas にて、BASF のブース(ホール 7.2、ブー

ス C41)へぜひお越してください。オンラインでのお問い合わせはこちらから: [お問い合わせ](#)
[せ – プラスチック添加剤](#)

*国際農業用プラスチック委員会(CIPA [グローバル・リーチ - CIPA 施設園芸](#))

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASFのプラスチック添加剤について

BASFは、プラスチック添加剤を製造するリーディングサプライヤーであり、この分野におけるイノベーションパートナーでもあります。BASFの包括的かつ革新的な製品ポートフォリオには、各種ポリマーおよび成形品、フィルム、繊維、シート、押出成形品などの用途において、加工安定性、耐熱性、耐光性を向上する安定剤などがあります。これらの製品群は、常に分析、評価され、持続可能性に大きく貢献するソリューションに向けて積極的に改良されています。プラスチック添加剤に関する詳細は www.plasticadditives.basf.com (英語)をご覧ください。

■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追求しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約108,000人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション&ケア)、スタンドアロン事業の事業セグメント(サーフェステクノロジー、アグロソリューション)から成ります。2025年のBASFの売上高は約600億ユーロでした。BASF株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASFの詳細情報は <https://www.basf.com/global/en.html> をご覧ください。